

故郷の近況報告と 児童自由画保存に向けた協力を依頼 ～東京竜丘会総会が開催される～



5月18日、首都圏在住の竜丘地区出身者で組織されている「東京竜丘会」の総会が開催され、竜丘地区からは地域自治会役員をはじめ、高齢者クラブの役員のみなさんや南信州新聞社の関谷社長、木下長志名誉会長、木下陸奥元公民館長など20名が参加しました。

当日は、総会に引き続き、桐林出身の出版ジャーナリストの塩澤実信氏による講演会の後、竜丘地区からの近況報告がなされました。はじめに、木下地域自治会会長が、ビデオレターで竜丘会会員の思い出の場所等の最近の状況を報告しながら、このたび策定された竜丘地区基本構想の一端を紹介しました。

また、下平公民館長からは、現在の竜丘児童自由画の保存と顕彰に向けた取り組みを紹介するとともに、レプリカを活用し、児童自由画等を保存するための資料館建設に向けた協力を呼びかけました。懇親会では、昭和25～26年当時の地区の記録を上映。最後は信濃の国を全員で合唱し万歳で締めくくりました。高齢化により竜丘会総会への会委員の出席者数が減少傾向にありますが、東京竜丘会の会員は500名を超えており、今後とも、竜丘地区との継続的な交流が求められていると（地域振興委員会）

地区民の交流を大切に「長野原実年会」

長野原実年会は、平成7年5月27日に長野原区民センターにおいて結成されました。

当時の長野原には、壮年団と老人会のみ組織されていて、中間の実年層の組織がなく、かねてから結成化の声もあり、実年会が結成されました。年齢層は45歳から68歳までの男性で構成されていますが、上限は任意で残留出来ます。

長野原は、他地区から移り住む人が圧倒的に多く、区民の交流の場が不可欠でした。

まずはお互いを知る事が必要であることから、初夏に2回の奉仕作業と夏祭りの協賛活動、秋の研修旅行と早春の研修会などをおして、地区民の親睦を図る事が年間の行事となっています。

活動には、堅苦しい縛りはなく、都合のつく範囲で行っています。平成25年度は、阿智村前村長の岡庭氏を講師にお招きし、満蒙開拓団についての講演を行い、会員のみならず多くの方にも聴講して頂きました。

基本はあくまでも親睦団体で地区民の交流が第一の目的の実年会です。（長野原実年会 会長 萩原秀成）



春の女神!! ギフチョウ飛んだ 見た 感動した

～ 飛んでいるギフチョウを見る会 ～

恒例の「飛んでいるギフチョウを見る会」が4月12日に飯田昆虫友の会主催で行われました。

当日は快晴、舞台は整い、参観者は前年の3倍の60名あまり。直前の新聞報道「竜東地域は頭数半減」の記事に触発された様子も伺えました。竜丘地区の保護活動でも一時期100粒以下の産卵状態に落ち込んだものの、最近では1000粒以上の卵が確認されています。ギフチョウは氷河期からの昆虫、自然環境を推し図るバロメーターであるとの事前説明を聴講。期待に胸を膨らませ歩を進めると、ヒメカンアオイの葉の裏の卵を見つけたり、ギフチョウ飛翔の姿に秘かなる歓声が上がりました。

ギフチョウ公園をスタート、臼井川周辺・野楽路ビオトープ・上川路大畑等の場所で10数頭を確認しました。県外からギフチョウを撮影に来た方も見受けられました。説明を聞き飛んでいる姿を確認することで、竜丘には自然が残されていることを実感すると同時に「人と自然の共生が大切」を知ることが出来ました。

ギフチョウについては親子ふれあいハイキング(5/11)でも松下重雄さんからお話しをお聞きしました。改めて関係者の皆さんの地道な活動を感謝しているところです。(竜丘公民館)



地域防災力の向上・強化を目指して

～ 竜丘自主防災会・赤十字奉仕団竜丘分団総会開催～



5月15日、竜丘公民館において、平成26年度竜丘自主防災会総会が開催されました。

議案第1号「平成25年度事業報告」、議案第2号「平成25年度会計報告」はいずれの議案も、承認・認定、議案第3号「平成26年度事業計画(案)」議案第4号「平成26年度会計予算(案)」についても、原案のとおり可決されました。

今年度は、平成26年8月31日に実施予定の「飯田市地震総合防災訓練」に合わせた竜丘地区防災訓練の実施、「竜丘地区防災計画」の策定を行い、防災に強いまちづくりの推進、救急講習会(心肺蘇生・AED)や学習会を開催し、防災意識の向上と応

急手当の知識と技術の普及を主な事業として計画しています。「竜丘地区防災計画」については、今後、幹事会等で検討を重ね、年度内の早い段階で策定できるようにしていきます。

また5月14日に竜丘公民館において平成26年度赤十字奉仕団竜丘分団総会が開催されました。

総会は、飯田市赤十字奉仕団西塚副委員長、竜丘地域自治会木下会長ほか多くの来賓をお迎えし、団員75名の出席で行われました。

第1号議案「平成25年度事業報告」第2号議案「平成25年度決算報告」は何れも承認、第3号議案「平成26年度事業計画(案)」第4号議案「平成26年度予算(案)」についても可決されました。事業としては、飯田市赤十字奉仕団大会への参加や県救急法競技大会への参加、赤い羽根共同募金街頭募金の実施、にこにこ赤十字健康教室、避難所運営ゲームなどを計画しております。

竜丘自主防災会・赤十字奉仕団竜丘分団の活動は、消防団第7分団とともに、竜丘地区の防災力を向上・強化させていく中で非常に重要なものになります。今後とも、地区の皆さんのご理解とご協力をお願いします。(竜丘自主防災会・日赤奉仕団竜丘分団)

